



今年の7月はオンラインで学べる！
オリジナルゲーム開発を体験できる、小学生向けプログラミング教室
「Tech Kids “ONLINE” CAMP in MATSUDO」を開催します

コンテンツ産業の振興を進める松戸市では、未来のクリエイター育成を目的として、ゲーム大手の株式会社 Cygames（サイゲームス）、プログラミング教育事業の株式会社 CA Tech Kids（シーエーテックキッズ）と共同で、市内の小学校4年生～6年生を対象とした無料プログラミング教室「Tech Kids CAMP in MATSUDO（テック キッズ キャンプ イン マツド）」を開催しています。

平成30年度より延べ11回（Vol.01～Vol.11）開催し、約220名の小学生が参加、各回定員20人に対し2～8倍の応募があり、大変な人気を博しています。

これまでは、公募し当選した子どもたち20人が1つの会場に集まって、連続する2日間（6時間×2日間＝計12時間）でプログラミングを学び、簡単なオリジナルゲーム開発と作品発表を行ってきました。

今年度最初となる7月の開催では、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮し、3つの密を避けるとともに、学びを止めない新しい授業のスタイルを創り出すため、「Cygames presents Tech Kids “ONLINE” CAMP in MATSUDO（サイゲームス プレゼンツ テック キッズ オンライン キャンプ イン マツド）」と題し、Tech Kids CAMPとしては初めてオンラインでのワークショップを開催いたします。

今回は、ご自宅にパソコンがなくても参加できるよう、教材用のプログラミング学習ソフト「Scratch（スクラッチ）」と、ビデオ会議システム用のアプリをインストールしたパソコンを用意。公募し当選した子どもたち60人（20人×3回分＝計60人）全員にパソコンを貸し出します。子どもたちは4日間（2時間×4日間＝計8時間）、自宅にいながらプログラミングを学び、オリジナルゲーム開発体験を行うプログラムに参加することができます。

オンラインワークショップ中は、講師の顔と教える声の視聴だけではなく質問や会話をすることも可能で、一緒に参加している子どもたちみんなともコミュニケーションを図り、制作の様子を見ることができます。

ゲーム開発には、サイゲームスが実際のゲームで使用していたイラストやサウンド素材が提供され、本格的な素材を使ってお子さんたちにプログラミングの楽しさや可能性を感じてもらい、クリエイティブなことにチャレンジする文化の創出を図ります。



Cygames presents Tech Kids "ONLINE" CAMP in MATSUDO

- 【開催日】** 令和2年7月23日（祝）・24日（祝）・25日（土）・26日（日）の4日間
- 【時間】** 上記日程の①10～12時、②13時～15時、③16～18時
- 【講師】** 株式会社 CA Tech Kids スタッフ
- 【対象】** 全4日間参加可能でマウス操作ができる市内在住の小学4年～6年生。
自宅にインターネット環境がある人（パソコンは配送にて貸与）
※インターネット環境がない場合には、モバイルルーターの貸与も若干数可能です。
- 【定員】** ①②③それぞれ20人（計60人、応募者多数の場合は抽選）
- 【費用】** 無料
- 【特典】** 参加する子どもたち全員に、
Tech Kids CAMP in MATSUDO のオリジナルTシャツ、
Cygames オリジナルUSBメモリーをプレゼント
- 【募集期間】** 令和2年6月15日（月）～6月25日（木）
- 【応募方法】** 市ホームページの申し込みフォームで



- 共催／株式会社 Cygames、株式会社 CA Tech Kids、松戸市
- 協力／松戸コンテンツ事業者連絡協議会

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、政府等から新たな発表や措置が出された場合や状況によって、今後変更が生じる可能性もあります。その場合は速やかに市ホームページ等で告知します。

◇ Tech Kids CAMP in MATSUDO について ◇

平成27年度よりスタートした本取り組みは、「松戸コンテンツ事業者連絡協議会」の活動などを通じてコンテンツ産業の振興に積極的に取り組む松戸市の考えに、「グランブルーフアンタジー」などのゲームを手掛け、ゲームの企画・開発・運営事業を行う株式会社 Cygames（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：渡邊耕一氏）と2013年より小学生のためプログラミングスクール「Tech Kids School」を運営するなど、これまで述べ3万人以上の小学生にプログラミング教育の機会を提供してきた株式会社 CA Tech Kids（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：上野朝大氏）が賛同してくれたこと、そして、株式会社 Cygames の代表取締役社長・渡邊氏がかつて松戸市内に在住していたというご縁もあり、この取り組みが実現しています。



◇ コンテンツ産業振興事業について ◇

本市では、平成27年10月に策定した「松戸市総合戦略」に則り、コンテンツ産業振興事業をスタートさせました。本市は、ゲーム開発やアニメ制作等のコンテンツ事業者が集中する秋葉原、池袋エリアに近く利便性が高い街であることから、有名なコンテンツ関連企業や多くのクリエイターが松戸に拠点を置いていた背景を踏まえ、平成27年度より5年間、地方創生交付金を活用して事業を進めてきました。

平成28年3月に「松戸コンテンツ事業者連絡協議会」、令和元年4月に「松戸コンテンツ協同組合」を設立し、東京ゲームショウへの出展やパンフレットの作成・配布、VR等の体験イベントの開催などを通じて認知拡大を図りながら、市内で多彩な創造的体験ができる機会を創出してきました。現在は、これまでの事業をより発展させクリエイティブな市民を増やすことを目的に、松戸コンテンツ事業者連絡協議会と連携し、新たな3つの施策(①市民が創造的なコンテンツに触れる機会を創出するための施策、②市内事業者を増やすための施策、③市外事業者(松戸関係事業者)や協力者を増やすための施策)で事業を展開しています。

【問い合わせ先】

経済振興部文化観光国際課 ☎ 047-366-7327